

日本風景街道  
ベストプラクティス集（案）

V e r . 1

～ ご使用にあたって ～

●目的

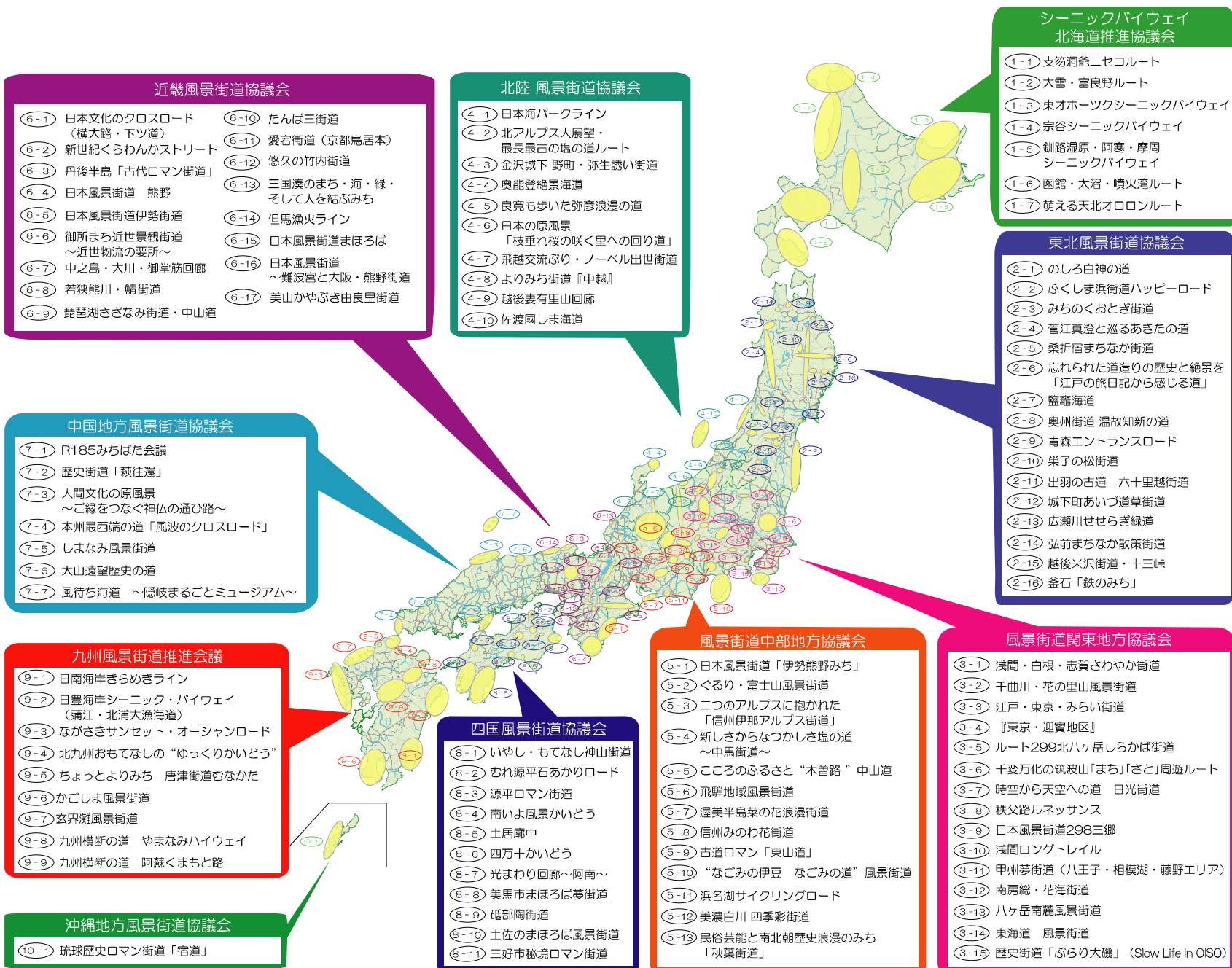
本事例集は、風景街道パートナーシップの方々が、活動を行う際の参考にして頂くことを目的として作成。

●連絡先

- ・各活動事例に関する質問については、活動事例の中に記載されている連絡先へ問い合わせ可。
- ・その他活動等に関する質問につきましては、管轄する各地方協議会へお問い合わせ下さい(最終ページをご参照ください)。

# ■ 風景街道の登録状況

～平成21年4月現在 全国で106ルートが登録～



## ■ 目次（１）

| 地域ブロック | 活動名称                           | ルート名称                    | カテゴリー             | 参照ページ |
|--------|--------------------------------|--------------------------|-------------------|-------|
| 北海道    | シーニックナイト～あかりがつなぐ雪のみち～          | 支笏洞爺二セコルート               | 景観 交流促進           | 1     |
| 北海道    | ウィンターサーカス 事業                   | 大雪・富良野ルート                | 景観 交流促進           | 2     |
| 北海道    | ルートホームページによる「顔が見える」「旬が伝わる」情報発信 | 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ     | 情報提供・広報PR         | 3     |
| 東北     | 民話の語り部育成（後継者育成）事業              | みちのくおとぎ街道                | 調査研究・人材育成、交流促進    | 4     |
| 東北     | 街道の復元整備（ダム水没区間の復元）             | 出羽の古道 六十里越街道             | 基盤・施設整備           | 5     |
| 東北     | 商品開発に向けたモニターツアー事業              | 菅江真澄と巡るあきたの道             | 調査研究・人材育成、歴史・文化   | 6     |
| 関東     | 「地域通貨」を活用したまちづくり               | 秩父路ルネッサンス                | 収益事業、交流促進         | 7     |
| 関東     | 景観間伐・視点場づくり                    | 秩父路ルネッサンス                | 景観                | 8     |
| 関東     | エコハイクツアー調査                     | 秩父路ルネッサンス                | 調査研究・人材育成         | 9     |
| 北陸     | 寄れっ茶屋事業                        | 佐渡國しま海道                  | 交流促進              | 10    |
| 北陸     | 沿道施設修景                         | 良寛も歩いた弥彦浪漫の道             | 景観                | 11    |
| 北陸     | フォトコンテストの実施とカレンダーの製作           | よりみち街道『中越』               | 景観・収益事業、情報提供・広報PR | 12    |
| 中部     | 看板撤去事業                         | ぐるり・富士山風景街道              | 景観                | 13    |
| 中部     | みちづくり研究会in熊野川                  | 日本風景街道「伊勢熊野みち」           | 交流促進              | 14    |
| 中部     | 地域資源探訪                         | 二つのアルプスに抱かれた「信州伊那アルプス街道」 | 交流促進              | 15    |
| 中部     | アクションプランの策定                    | 渥美半島菜の花浪漫街道              | 調査研究・人材育成         | 16    |



## ■ 目次（2）

| 地域ブロック | 活動名称               | ルート名称                      | カテゴリー                      | 参照ページ |
|--------|--------------------|----------------------------|----------------------------|-------|
| 近畿     | 枚方宿町家情報バンク         | 新世紀くらわんかストリート              | 景観、歴史・文化                   | 17    |
| 近畿     | 「地域・行政」協働の景観整備事業   | 日本風景街道熊野                   | 景観                         | 18    |
| 近畿     | 子ども語り部             | 日本風景街道若狭熊川・鯖街道             | 交流促進、人材育成、<br>情報提供・広報PR    | 19    |
| 近畿     | わかめイベント            | 但馬漁火ライン                    | 交流促進、自然                    | 20    |
| 近畿     | 「たけのスタイル」誕生の塩工房の取組 | 但馬漁火ライン                    | 交流促進、歴史・文化、<br>自然          | 21    |
| 中国     | ビューポイントマップ作成事業     | 大山遠望歴史の道                   | 景観、自然                      | 22    |
| 中国     | レーク街道カフェ           | 人間文化の原風景～ご縁をつな<br>ぐ神仏の通ひ路～ | 景観、自然、歴史・文化、<br>収益事業       | 23    |
| 中国     | OKI まるごとミュージアム事業   | 風待ち海道                      | 調査研究・人材育成                  | 24    |
| 四国     | むれ源平石あかりロード        | むれ源平石あかりロード                | 景観、歴史・文化、<br>交流促進          | 25    |
| 四国     | 神山さくら道づくり          | いやし・もてなし神山街道               | 景観・自然                      | 26    |
| 四国     | 風景学習プログラム          | 土居廓中                       | 調査研究・人材育成、<br>歴史・文化        | 27    |
| 四国     | 地域資源のライトアップ        | 南いよ風景かいどう                  | 景観・交流促進、<br>情報提供・広報PR      | 28    |
| 九州     | 看板撤去事業             | かごしま風景街道                   | 景観                         | 29    |
| 九州     | ビューポイント整備          | ながさきサンセット・オーシャ<br>ンロード     | 基盤・施設整備                    | 30    |
| 九州     | 「通り名」による道案内事業      | 日南海岸きらめきライン                | 基盤・施設整備、交流促進、<br>情報提供・広報PR | 31    |
| 九州     | 「通り名」による道案内        | ながさきサンセット・オーシャ<br>ンロード     | 基盤・施設整備、交流促進、<br>情報提供・広報PR | 32    |
| 沖縄     | 景観点検ツアー            | 琉球歴史ロマン街道「宿道」<br>（南部）      | 景観                         | 33    |
| 沖縄     | 自転車版快適さマップの作成と交流促進 | 琉球歴史ロマン街道「宿道」              | 景観、交流促進                    | 34    |

|        |         |       |                       |
|--------|---------|-------|-----------------------|
| カテゴリー  | 景観 交流促進 | 活動名称  | シーニックナイト～あかりがつなぐ雪のみち～ |
| 地域ブロック | 北海道     | ルート名称 | 支笏洞爺ニセコルート            |

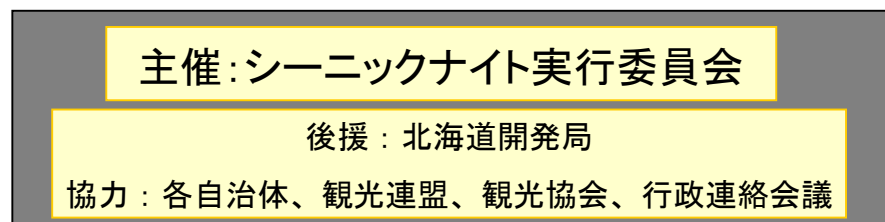
## ①活動概要

「支笏洞爺ニセコルート」は、年間を通じて多数の観光客が訪れる地域であり、冬を楽しむ取り組みとして、2006年より参加型イベントであるキャンドルナイトを実施しキャンドルの同時点灯を行った。

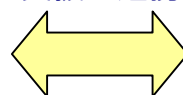
目的：  
 ・シーニックバイウェイ北海道の周知  
 ・地域住民の参加による地域の活性化  
 ・観光客の参加による冬季周遊観光の促進

## ②活動の体制

ルート連携の強化と取り組みの継続やさらなる発展に向け、3エリア連携による「シーニックナイト実行委員会」により運営している。



支援・連携



協賛企業  
 ＋  
 個人



ウエルカム北海道エリアの様子



洞爺湖エリアの様子



ニセコ羊蹄エリアの様子

## ③苦労した点や工夫した点

- ・キャンドルおよび運営資金の確保  
 ⇒ 企業協賛やシーニックサポーターを募集することで協賛金を獲得しキャンドルの確保を行うとともに運営のための資金確保を行った。

## ④活動の効果

企業協賛や参加団体数が増加し、若年層の参加も見られ地域内への広がりが確認された。また関連イベントの併催や他ルートとの連携も行われた。幻想的な冬の夜の沿道景観が訪れた観光客や地域住民にとっても好評である。

## ⑤今後の活動

参加しやすい仕組みづくりや広報活動をすすめ、地域への更なる浸透、質の向上及び規模の拡大に努めていく。



シーニックナイト参加者



他ルートとの連携

問合せ先 担当：札幌開発建設部 道路調査課 調整係  
 電話：011-611-0111(内線2319)

カテゴリー

景観 交流促進

活動名称

ウィンターサーカス 事業

地域ブロック

北海道

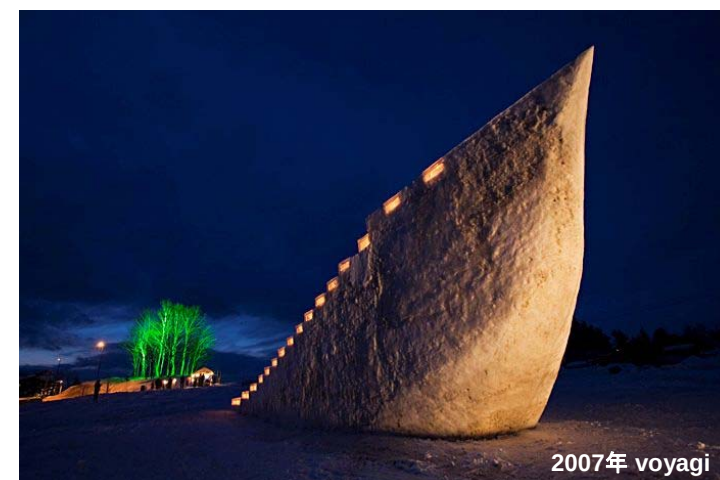
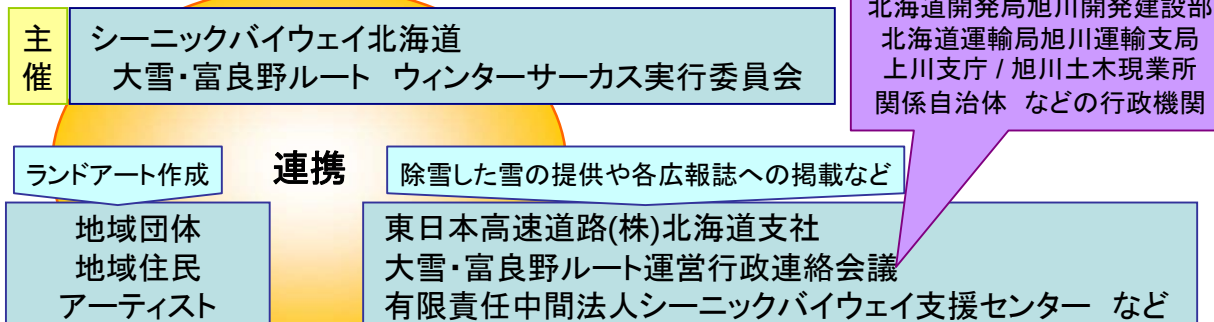
ルート名称

大雪・富良野ルート

## ①活動概要

大雪・富良野ルートでは冬の地域資源を活用した冬期観光活性化の取り組みとして、2006年より地域のNPOや商工会などの活動団体と地域住民、アーティストが協働し、ルート内各地にランド・アートを展開する「ウィンターサーカス」を実施。夜にも作品が楽しめるようプロジェクターによる映像の投影やキャンドルによる灯りの演出なども行っている。

## ②活動の体制



## ③苦労した点や工夫した点

- ・苦労した点→活動費用の捻出が課題があり、企業協賛などを行い活動費用の捻出を行ってきたところ。H20年度は補助金申請を行い、採択され、事業継続。
- ・工夫した点→地域に根ざした活動としての位置づけを目指し、地元小学生を対象にしたワークショップや地域の雪まつりとの共同開催などを行っている。

## ④活動の効果

ランド・アートを鑑賞する旭川駅発着の無料バスツアーは、常に満員となるほどの好評であり、観光活性化の可能性が見て取れる。また、制作ボランティアや地域住民には、ランド・アート作品を通して地域を見直すきっかけにもなり、地域への愛着の醸成などの効果も期待される取り組みとなっている。

## ⑤今後の活動

継続的な実施を目指すとともに、内容や企業など連携機関の充実を図り、冬期観光活性化及び地域に根ざしたイベントにする。



問合せ先 担当:旭川開発建設部 道路1課 調整係  
電話:0166-32-1111(3550)



カテゴリー

情報提供・広報PR

活動名称

ルートホームページによる  
「顔が見える」「匂が伝わる」情報発信

地域ブロック

北海道

ルート名称

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

## ①活動概要

当ルートが運営しているホームページは、情報を閲覧するだけではなく、交流できるホームページを目指し、2006年度より各地域の住民がホームページのライターとなって、それぞれの趣味や職域、特技などを活かして、各地域の「匂な地域情報」を発信している。

## ②活動の体制

## 【ルートホームページ】



・ルートの情報  
広報部会によ  
るホームペー  
ジ運営

・7つのコンテ  
ンツが、独立  
したブログ

アドレス (<http://sbw.web-p.jp>)

ホームページ  
への書き込み

## ③苦労した点や工夫した点

【苦労した点】・地域ライターに対して、記事アップに関してのマニュアルづくり

【工夫した点】・様々な匂の地域情報を発信出来るようにブログ形式のホームページを採用  
定期的に「ライターズミーティング」を開催

## ④活動の効果

・ホームページ上のブログを介して、各地域のライター同士や一般閲覧者とのコミュニケーションが図られた

・一般閲覧者に対して、ルート活動のPRが出来た

## ⑤今後の活動

ルートホームページが、「地域のポータルブログ」となるように、全国の「釧路ルートファン」のネットワーク化を目指して活動していく予定

## 【地域ライター】

31名の地域ライターが、  
居住地域のブログに所属



(12名)



(6名)



(5名)

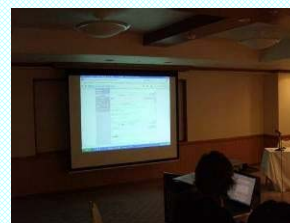


(8名)



## 【ライターズミーティング】

地域ライターと定期的（年1回）会議を開催



問合せ先 担当：釧路開発建設部 道路第1課 調整係  
電話：0154-24-7000（内線3572）

|        |                    |       |                   |
|--------|--------------------|-------|-------------------|
| カテゴリー  | 調査研究・人材育成、<br>交流促進 | 活動名称  | 民話の語り部育成（後継者育成）事業 |
| 地域ブロック | 東北                 | ルート名称 | みちのくおとぎ街道         |

## ①活動概要

「みちのくおとぎ街道」のイメージアップ及びブランド化、交流人口の拡大への取り組みの目玉として、地域に伝わる民話・物語・伝承の発掘と継承を行うと共に、街道沿い地域の歴史や文化に体するPR活動を実施。（平成19年度より実施）

- ・語り部の発掘、育成
- ・「みちのくおとぎ民話フェスタ」の開催（H19 約2,000人）
- ・アンケート調査の実施 等

## ②活動の体制

|    |                   |
|----|-------------------|
| 主体 | 国道113号観光推進協議会（PS） |
| +  |                   |
| 協力 | 語り部組織（6団体）        |

## ③苦勞した点や工夫した点

- ・語り部の確保が困難 ⇒ 活動の場（みちのくおとぎ民話フェスタ）を作ることによるPR効果、モチベーションの向上。
- ・来訪者が語り部に求めていることは何か  
⇒ アンケート調査を実施し、結果を今後の活動へフィードバック。

## ④活動の効果

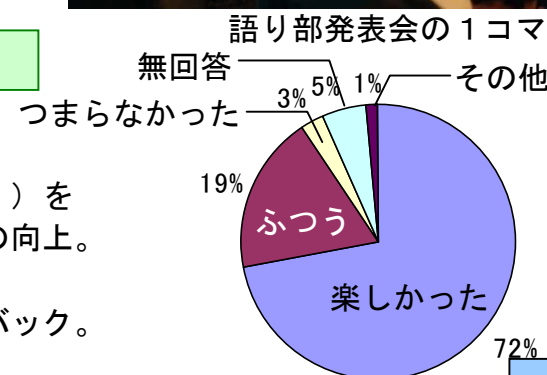
- ・発掘及び育成により、語り部の数的安定化
- ・語り部本人の自信と質の向上

## ⑤今後の活動

他地域には少ない独特の資源である「語り部」を観光の目玉としていくため、更なる質の向上及び規模の拡大に努めていく。



おとぎ民話フェスタのちらし



### アンケート結果における今後の課題

- ・声が低く聞こえない人がいた。
- ・方言で話してもらった方がよい。
- ・子供の教育のため是非聞かせる  
と良い。

問合せ先 担当: 国道113号観光推進協議会事務局  
白石市産業部商工観光課 課長補佐  
電話: 0224-22-1321



|        |         |       |                    |
|--------|---------|-------|--------------------|
| カテゴリー  | 基盤・施設整備 | 活動名称  | 街道の復元整備（ダム水没区間の復元） |
| 地域ブロック | 東北      | ルート名称 | 出羽の古道 六十里越街道       |

## ①活動概要

- ・寒河江ダムの建設により水没した街道の一部（既存のルートが確認でき、補償対象とされた区間以外（800m））を復元整備。
- ・スケジュール  
【H20】現地調査、ルート決定、支障木刈払い等を実施し、大まかなルートを整備。  
【H21】ステップを設ける等して散策しやすいように整備し、夏までには完了予定。

## ②活動の体制

- 地域と連携して一体的な取り組み

主体 出羽の古道 六十里越街道会議（PS）

+

協力 本道寺地域づくり推進協議会（西川町本道寺地区の住民組織）



▲ルートの状況

## ③苦労した点や工夫した点

### 【苦労した点】

- ・地権者や土地管理者、その他関係者との合意取り付け。

### 【工夫した点】

- ・街道が繋がることで地域にもたらす効果などを説明しながら、真摯に協議を重ねたことで合意形成が図れた。

## ④活動の効果

- ・地元を離れたダム水没地区出身の方々からも、ふるさと支援ということでの刈払い作業協力が得られた。
- ・街道の復元によりトレッキングルートの連続性を確保。（かつて出羽三山の登拝口として栄えた本道寺地区等の活性化に期待）
- ・街道が寸断されたことにより弱まった集落間の連携回復に期待。

## ⑤今後の活動

- ・街道の復元整備により、トレッキングイベント、旅行商品等の誘客拡大を図る。
- ・広大なツバキの群生地など、新たな観光資源を活用した地域活性化策の検討を実施。



地元紙による報道



問合せ先 担当: 西川町総務企画課 課長補佐  
電話: 0237-74-2112



カテゴリー

調査研究・人材育成、  
歴史・文化

活動名称

商品開発に向けたモニターツアー事業

地域ブロック

東北

ルート名称

菅江真澄と巡るあきたの道

## ①活動概要

秋田県内外に多数存在する「菅江真澄」の足跡を巡る新たな観光ルートの商品化に向けたモニターツアーと参加者からのアンケート調査の実施。

(平成18年度より実施)

- ・H18：横手市美郷町方面（40名）
- ・H19：男鹿市（40名）
- ・H20：青森県下北方面（12名）、男鹿市（14名）

## ②活動の体制

主体

秋田のみち・文化再発見の会(PS)

## ③苦労した点や工夫した点

【苦労した点】・地元ガイドの確保

【工夫した点】・PS団体の自助努力によるガイドを実施  
・随所で菅江真澄の図絵と現在の風景を比較  
・昼食も真澄が記載したメニューを再現

## ④活動の効果

- ・参加者のアンケート結果は概ね好評。
- ・商品化に向け、手応えを感じている。

## ⑤今後の活動

- ・商品として“何が不足”して“何が支障”となっているのか等、アンケート結果を取りまとめ関係機関へ提起する。
- ・地元ガイドの育成、地域の受入体制の構築を図る。
- ・広域観光ルートの商品化へ向け、観光会社との連携を図る取り組みを展開していく予定。

## 菅江真澄とは

菅江真澄（1754～1829）は、江戸時代後期の紀行家で、現在の愛知県の生まれです。北陸・東北・北海道を巡り歩き、中でも秋田には29年間も滞在していました。残された図絵は3,000枚にもなり、その足跡は秋田県内各地にのこされています。男鹿の「なまはげ」を最初に記した人でもあります。



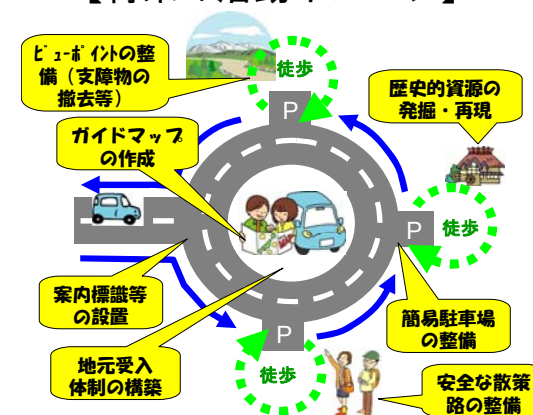
菅江真澄の図絵  
※秋田県立博物館蔵の写本

菅江真澄の図絵（約200年前）とほぼ変わらない景色の中での昼食（H19）



菅江真澄も描いた真山神社のカヤの木（男鹿市）  
について地元ガイドの説明を聞く参加者（H20）

## 【将来の活動イメージ】



問合せ先 担当：秋田のみち・文化再発見の会 鑑 啓記  
あぶみ けいき  
電話：018-832-5680

カテゴリー

収益事業、交流促進

活動名称

「地域通貨」を活用したまちづくり

地域ブロック

関東

ルート名称

秩父路ルネッサンス

## ①活動概要

観光客やイベント参加者と地域に住む人々がふれあい、まちの生活に関わり、経済的だけではなく文化的など日々の生活に潤いを与え持続的なまちづくりを行うための取組で、各種活動に参加するボランティアに地域通貨として「ちちぶ魅力アップ券」（1000ペイでコイン型商品券に交換）を発行し、まちづくりをとおして地域内流通する仕組みづくりである。

ボランティア地域通貨の発行は平成18年度から、地域内を流通する仕組みづくりは引き続き検討を行っているところ。

## ②活動の体制

## ③苦労した点や工夫した点

- ・秩父市商店連盟事業協同組合が発行し地域に定着しているコイン型商品券をボランティア地域通貨として活用。
- ・ボランティア地域通貨の原資となる「秩父魅力アップファンド」の仕組み。（現在検討中）



ボランティア地域通貨「ちちぶ魅力アップ券」



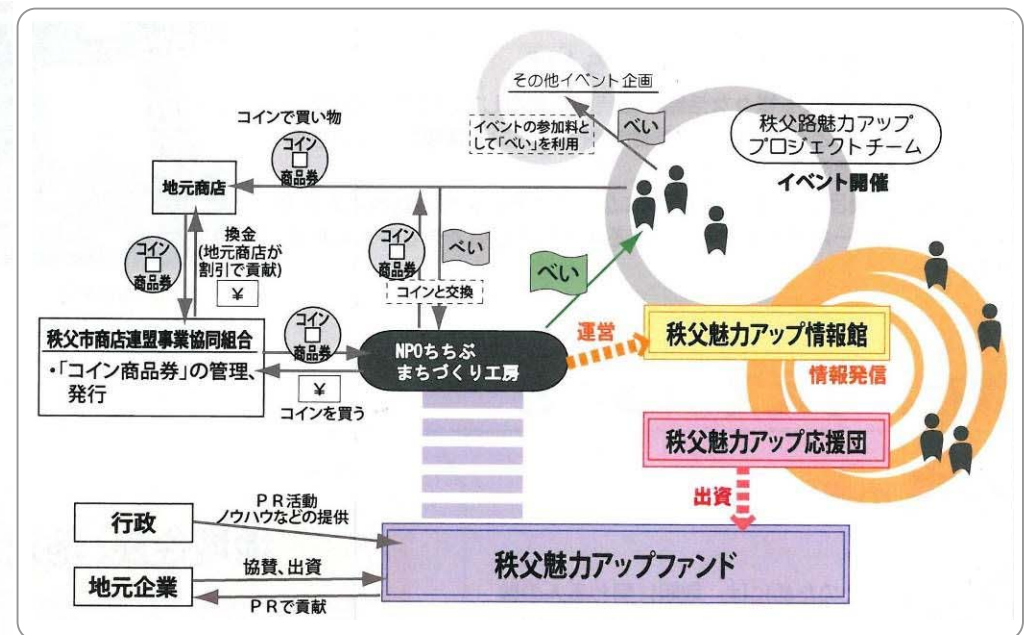
秩父路ボランティア商品券1,000円

## ④活動の効果

- ・景観間伐やエコハイクツアー調査などの各種活動に参加してくれたボランティアに発行し好感を得ている。
- ・ファンドの仕組みを構築していくうえでの課題や可能性を発見することが出来た。

## ⑤今後の活動

今後は実験的に小さな事業を繰り返しながら少しずつではあるが「秩父魅力アップファンド」の仕組みをより実用性の高いものにする。そのため、活動に参加してくれる人や活動に協力してくれる企業などの「秩父魅力アップ応援団」の構築も引き続き実施する。また、ボランティア地域通貨については、他のイベント企画の利用券にも活用できるようにする。



地域通貨を活用したまちづくりの仕組みイメージ

問合せ先 担当: NPOちちぶまちづくり工房 市川 均  
電話: 049-237-7670 (アーキネットデザイン)

担当: 埼玉県県土づくり企画室 計画調整担当  
電話: 048-830-5363



カテゴリー

景観

活動名称

景観間伐・視点場づくり

地域ブロック

関東

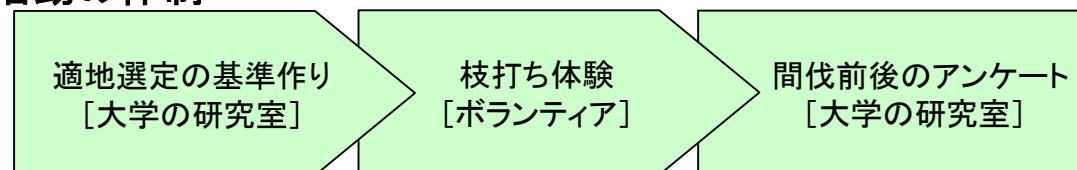
ルート名称

秩父路ルネッサンス

## ①活動概要

沿道のスギやヒノキの一部を伐採することにより、道路からの眺望を改善し、訪れる人が“いい！”と感じる景観作りを行うもの。景観間伐は平成18年度から実施しており、平成19年度には視点場づくりとあわせた活動として展開中です。

## ②活動の体制



## ③苦労した点や工夫した点

- ・ パートナーシップのメンバーでもある大学の研究室との協力
- ・ ボランティアによる枝打ち体験→間伐の効果を実感

## ④活動の効果

- ・ うっそうとしていた樹木が間伐によりすっきりし、道路が明るく、ドライバーの見通しも良好になった。
- ・ 樹木の間から美しい山並みが見え、訪れる人が眺めを楽しめるようになった。

## ⑤今後の活動

- ・ 道の空間を単なる走行通過する空間として景観づくりを行うのではなく、地域と訪れる人とが交流する空間とした風景づくりとして、「視点場づくり」を展開。
- ・ 大学との連携  
(カリキュラムとして景観調査の実施 等)



実施後



枝打ちボランティア作業風景



実施前

景観間伐



駐車と回遊スペースの状況



実施前



実施後

眺望スペースと景観間伐の状況

問合せ先 担当:NPO森  
電話:0494-54-2636

担当:埼玉県県土づくり企画室 計画調整担当  
電話:048-830-5363

カテゴリー

調査研究・人材育成

活動名称

エコハイクツアー調査

地域ブロック

関東

ルート名称

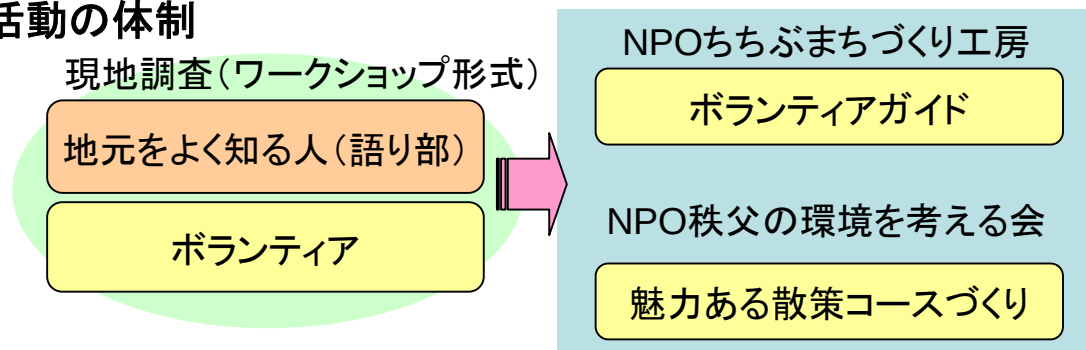
秩父路ルネッサンス

## ①活動概要

ハイキングコースや散策コースなど地図やガイドブックなどには載っていない、隠れた秩父地域の魅力ある散策コースを発見するため、ボランティアとガイド役の地元の人（語り部）が二人三脚で現地を調査し、コースの改善作やPRのアイデアなどをワークショップ形式で探っていくもの。

この活動は、平成18年度から毎年取り組んでいるものです。

## ②活動の体制



## ③苦労した点や工夫した点

- ・ 地図やガイドブックではなく、語り部とのふれあいから楽しさや感動を伝え、「ボランティアガイド」を養成。
- ・ 現地調査後、エコハイクツアーに参加したボランティアの方に体験リポートを提出してもらい、隠れた魅力やPR方策を検討しコースづくりに役立てた。

## ④活動の効果

- ・ 地域外の人とのふれあいから、地元の人におもてなしの心が育まれた。
- ・ 知られざる地域の魅力を知ること、地元へ自信と愛着が深まった。
- ・ 地元の人とボランティアガイドの養成により、訪れる観光客へのサービスが向上した。

## ⑤今後の活動

- ・ 秩父地域の魅力ある散策コースマップを作成し、各方面に情報を発信する。
- ・ ボランティアガイドによる出前講座を開催し、より多くの人へ魅力を知ってもらう。



まちあるき調査

語り部



ボランティアガイド



問合せ先 担当: NPOちちぶまちづくり工房 市川 均  
 電話: 049-237-7670(アーキネットデザイン)  
 担当: NPO秩父の環境を考える会 萩原 良朗  
 電話: 0494-24-4116(萩原印刷)  
 担当: 埼玉県県土づくり企画室 計画調整担当  
 電話: 048-830-5363



カテゴリー

交流促進

活動名称

寄れっ茶屋事業

地域ブロック

北陸

ルート名称

佐渡國しま海道

## ①活動概要

「小さな道の駅」をコンセプトに、佐渡を訪れる観光客に、道案内やトイレ・休憩場所を無償で貸すなどのサービスを、民家や地元企業（土産屋、旅館など）の協力のもと実施。平成20年4月～9月の実験期間では、島内38箇所のモニターが参加した。

今後、モニターからの意見等を踏まえ、期間中の問題点・改善点を検討し、平成21年度から本格実施の予定。

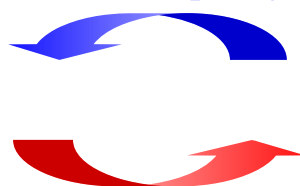
## ②活動の体制

連携して一体的に取り組み

佐渡國しま海道（PS）  
（佐渡を拠点に活動するNPO法人等で構成）

佐渡市

### ①「寄れっ茶屋」登録申請



・民家  
・地元企業  
（土産屋や旅館など）

### ②登録、昇り旗提供、HP上での紹介



<モニター実施状況>

## ③苦労した点や工夫した点

- ・島内玄関口での観光客へのPRが難しかった
- ・市報やフリーペーパーを活用し、活動の目的や協力施設の場所などの島内周知、および協力の呼び掛けを工夫した
- ・佐渡汽船窓口やレンタカー会社と連携し、寄れっ茶屋マップを配布した

## ④活動の効果

- ・数が少なく、冬期間閉鎖するものもある島内公衆トイレの代替効果
- ・旅人と島人の交流が生まれ、リピーターの増加に繋がる

## ⑤今後の活動

- ・観光客へ活動の周知を徹底する
- ・佐渡を代表するイベント（トライアスロンやロングライド）での活用を図っていく



<佐渡國しま海道HPより>



<佐渡市報H20.7月号>

問合せ先 担当:佐渡國しま海道 事務局 平原 匡  
電話:0259-57-0118

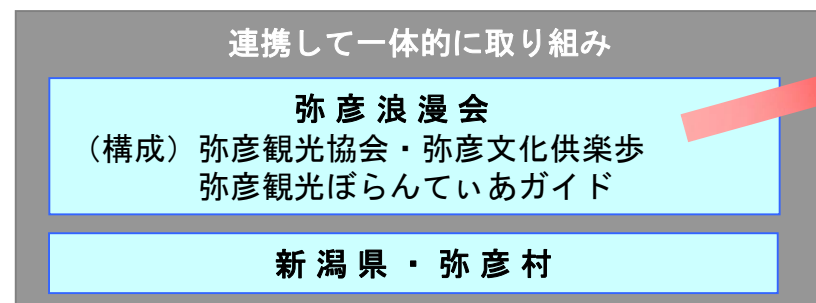


|        |    |       |              |
|--------|----|-------|--------------|
| カテゴリー  | 景観 | 活動名称  | 沿道施設修景       |
| 地域ブロック | 北陸 | ルート名称 | 良寛も歩いた弥彦浪漫の道 |

## ①活動概要

「弥彦ナイトウォーク」実施ルートであるJR弥彦駅前から彌彦(やひこ)神社一の鳥居までの街道沿いにある自動販売機に木枠を被せることにより修景を図る。(平成18年度より実施)

## ②活動の体制



地元民間企業(土産屋や旅館、工務店など)で構成され、店頭の自販機で協力

## ③苦労した点や工夫した点

- ・地域住民による活動への参加・協力がなかなか得られず、取り組みの周知・PRに課題が残った。
- ・木枠作成時に、「弥彦浪漫の道」ロゴを焼き付けた活動紹介プレートと一緒に設置し、認知度向上に工夫した。



## ④活動の効果

地域色と調和した自動販売機に修景され、新潟県下越地方を代表する観光地としての景観を創出。

さらなる魅力向上につながり、地元の方々や来訪者の評判も良好である。

## ⑤今後の活動

今後も引き続き、沿道施設の修景を行うとともに、アンケート調査等を実施し、地域住民・観光客の意見も踏まえ、活動向上につなげていきたい。



<活動紹介プレートの設置状況>

問合せ先 担当:弥彦浪漫会 事務局 羽生 雅克  
電話:0256-94-5841

カテゴリー

景観・収益事業、  
情報提供・広報PR

活動名称

フォトコンテストの実施とカレンダーの製作

地域ブロック

北陸

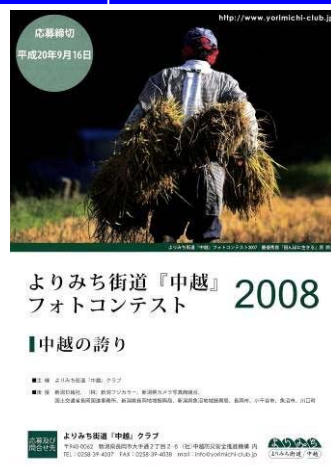
ルート名称

よりみち街道『中越』

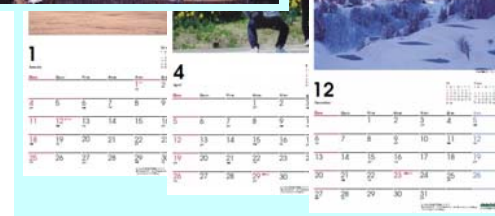
## ①活動概要

地震で被災した中越地域の景観資源の発掘を目的として中越の4市町を撮影地としたフォトコンテストを実施。

さらに、その入選作品をカレンダーとしてとりまとめ、中越地域の魅力を全国に発信することにより地域の復興・活性化を図る取組を実施。（平成18年度～20年度実施）



受賞作品



## ②活動の体制

主催

よりみち街道『中越』クラブ

後援

新潟日報社、(株)新潟富士カラー、新潟県写真商組合、長岡市 他

協力

キリンビール(株)新潟統括支社、キリンビバレッジ(株)新潟支社

&lt;中越の風景を対象としたフォトコンの実施&gt;

&lt;中越復興支援カレンダーの製作&gt;

2008年審査員

- ・中條均紀審査委員長 写真家
- ・阿部好春審査員 株式会社新潟フジカラー
- ・丸山暉彦審査員 長岡技術科学大学教授
- ・上野裕治審査員 長岡造形大学教授

※コンテストの実施費用は、前年度のカレンダーの売り上げから支出

## ③苦労した点や工夫した点

【苦労した点】中越に関心をもっていただくことを目的のひとつとしているため、いかに応募者数を増やすか苦労した。

【工夫した点】フォトコンテストの応募期間を延ばすとともに、道の駅などで写真展を開催しPRを図った。

## ④活動の効果

フォトコンテストにより再発見した景観資源を活用し、案内マップを作成中。  
カレンダーの販売により、よりみち街道『中越』クラブの活動を継続的に実施。

## ⑤今後の活動

引き続き、フォトコンテストを実施し、景観資源の発掘・情報発信を行っていく。

問合せ先 担当:よりみち街道『中越』クラブ事務局 玉木  
電話:0258-39-4037

|        |    |       |             |
|--------|----|-------|-------------|
| カテゴリー  | 景観 | 活動名称  | 看板撤去事業      |
| 地域ブロック | 中部 | ルート名称 | ぐるり・富士山風景街道 |

## ①活動概要

『朝霧地区道路景観形成ワークショップ会議』の活動として、富士山への眺望を阻害している7基の看板の撤去を行った。国道沿いの景観チェックから撤去看板の選定、撤去作業まで、民と行政が協力し看板の撤去が実現した。

(平成19年度より実施)

## ②活動の体制

主体

朝霧地区道路景観形成ワークショップ会議、ぐるり富士山  
風景街道アクションネットワーク、富士宮市、静岡県

+

協力

国土交通省静岡国道事務所

※撤去費用: 看板設置者にて負担

## ③苦勞した点や工夫した点

広告物は、所有者の特定や、撤去の承諾を得るための交渉に苦勞した。

ワークショップを何度も開催し、看板のデザイン、形状が地域のイメージアップに繋がっているのかどうか、地元と行政（国、県、市）が一体となって検討した。

## ④活動の効果

富士山の眺望を阻害するものが無くなり、景観が向上。

民と行政が協力する体制ができあがった。

(実績: H19年度6基, H20年度1基撤去)

## ⑤今後の活動

国道138号, 139号, 469号等の沿線地域と連携し、今後もより良い景観形成に向けた活動を実施していく予定。

撤去前



静岡県と山梨県の県境にある静岡県の歓迎塔



民間の看板



ワークショップ風景

撤去中



歓迎塔の撤去作業は所有する静岡県が実施



撤去作業は地元、NPO、行政が協力実施

撤去後



富士山と草原の  
風景が復活

問合せ先 担当: NPO法人地域づくりサポートネット(高木)  
電話: 054-273-8041



カテゴリー

交流促進

活動名称

みちづくり研究会in熊野川

地域ブロック

中部

ルート名称

日本風景街道「伊勢熊野みち」

## ①活動概要

日本風景街道「伊勢熊野みち」の活動エリアは、南北に長く6市町にわたり、普段は個々に活動をしている。他の活動団体の現状を学習することにより、今後の活動の発展につなげていくとともに、構成団体同士の交流・連携を深めることを目的に勉強会を開催した。（平成20年度より実施）

## ②活動の体制

主体

日本風景街道「伊勢熊野みち」推進協議会

【構成】三重県・尾鷲市・熊野市・大紀町・紀北町

御浜町・紀宝町・熊野川体感塾などの関係団体

※活動費用：『日本風景街道「伊勢熊野みち」推進協議会』等で負担

## ③苦勞した点や工夫した点

「みんなで取り組む活動」として議論し、机上の勉強会にせず、体験・実演メニューを取り入れた。

## ④活動の効果

一日かけての勉強会となったが、体験や意見交換を通じて団体同士の交流が深まった。参加者からも非常に好評で、今後も、みんなで取組を継続していく必要性を認識し、一体感が生まれた。

## ⑤今後の活動

別の地区でも勉強会を開催していく予定。



三反帆による川舟下り



竹細工の実演



アドバイザーによる  
講義の後意見交換  
を行った

問合せ先 担当：三重県県土整備部景観まちづくり室  
電話：059-224-2747

|        |      |       |                          |
|--------|------|-------|--------------------------|
| カテゴリー  | 交流促進 | 活動名称  | 地域資源探訪                   |
| 地域ブロック | 中部   | ルート名称 | 二つのアルプスに抱かれた「信州伊那アルプス街道」 |

## ①活動概要

信州伊那アルプス街道は、活動エリアをブロック毎特有の地域資源から3つのブロック（西部山麓ブロック、市街地ブロック、東部山岳ブロック）に分けており、構成団体は各地区で地域資源を活かす活動を行っている。日頃、見慣れて当たり前になっている地域の「景色の良さ」を再認識するとともに、各団体の活動の相互理解の機会として、バスハイクを行った。（情報交換・交流会は平成19年度より実施、現地視察は平成20年度に実施）

## ②活動の体制

主体

信州伊那アルプス街道推進協議会（PS）  
（構成：沿道活動団体24団体）

※活動費用：『信州伊那アルプス街道推進協議会』で負担

## ③苦労した点や工夫した点

ルートを全て巡り、各地区でそれぞれの活動団体から活動内容や地域資源について説明を受ける行程とした。

より美しい風景が実感できるよう紅葉の季節としたほか、高遠城址の秋まつりにあわせるなど、観光資源を実感できるようにした。

## ④活動の効果

ルートの地域資源について、その良さを再認識する機会となった。

各地区で活動する団体同士の交流が深まった。

## ⑤今後の活動

信州伊那アルプス街道の構成団体内の交流を深めるだけでなく、当活動エリアに隣接した他の風景街道との交流促進を図るため、意見交換、勉強会等を実施していく予定。



古道を歩いて  
（秋葉街道）



農村歌舞伎「中尾歌舞伎」の舞台にて



現地説明の様子

問合せ先 担当：伊那市建設部建設課 田中  
電話：0265-78-4111 内線2532



|        |           |       |             |
|--------|-----------|-------|-------------|
| カテゴリー  | 調査研究・人材育成 | 活動名称  | アクションプランの策定 |
| 地域ブロック | 中部        | ルート名称 | 渥美半島菜の花浪漫街道 |

## ①活動概要

「渥美半島菜の花浪漫街道」は長期的視点に立った基本構想を平成20年3月に制定、これを踏まえて短期的・具体的な行動計画としてアクションプランを平成21年3月に策定した。

## ②活動の体制

**主体** 渥美半島菜の花浪漫街道パートナーシップ会議  
構成：各種団体、市民自治組織、NPO、行政

## ③苦労した点や工夫した点

市民代表・各種団体に行政を交えた策定委員会の下、活動の担い手となり得る組織へヒヤリングを行い、幅広いプロジェクトについて現状と課題の把握に努めた。

## ④活動の効果

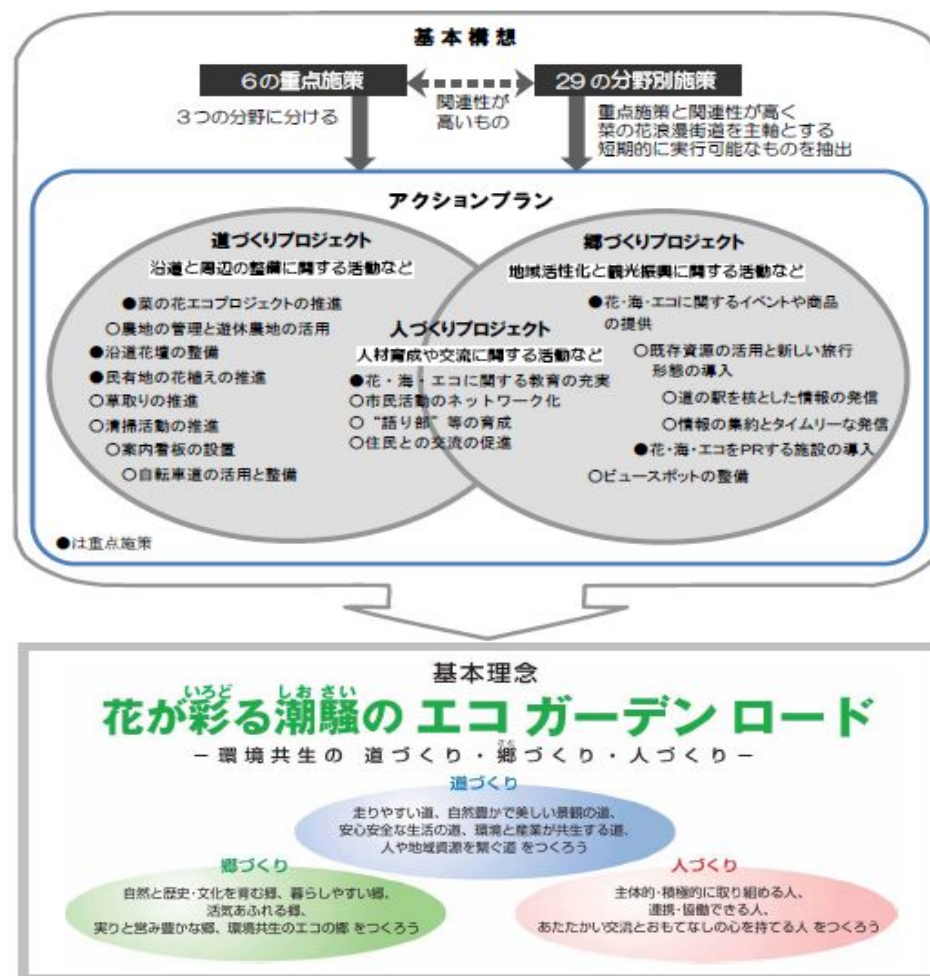
環境共生都市「たはらエコ・ガーデンシティ」の魅力を多くの市民と共有し、活動を育て広めていく意識が確かめられた。

## ⑤今後の活動

パートナーシップ会議が、基本構想に基づいた活動、アクションプランの進捗管理を行い、実施責任組織が取り組みを評価し改善を図る。

### リーディング事業

- (1)常に花のある地域づくり
- (2)花木の保護・育成と美化の推進
- (3)エコツーリズムの導入
- (4)カーナビを活用した旬のドライブルートの案内



問合せ先 担当: 愛知県田原市市民環境部エコエネ推進室  
電話: 0531-23-7401



カテゴリー

景観、歴史・文化

活動名称

枚方宿町家情報バンク

地域ブロック

近畿

ルート名称

新世紀くらわんかストリート

## ①活動概要

かつての宿場町である枚方宿は、歴史街道(京街道)を中心に東海道屈指の宿場町として、また淀川水運の中継港として栄え、枚方発展の礎となったまちです。近年は近代化により失われつつある状況を背景に、平成18年に「枚方宿地区まちづくり協議会」の部会として、町家情報バンク「五十六番館」を設立されました。枚方宿の魅力の発信と賑わいづくりを目指し、町家等を貸したい人と借りたい人を結ぶことにより、地域内にある空き家等の活用を支援する取組を行っております。また、斡旋した建物の改築については、枚方市における歴史的な建物の修景に対する補助制度を活用するなど、官民一体となった活動を行っております。(平成18年度より実施)

・ 借り手希望者の登録及び物件の発掘や調査 ・ 物件の紹介、町家見学会の開催

枚方宿町家情報バンク「五十六番館」のしくみ

## ②活動の体制

枚方宿地区まちづくり協議会

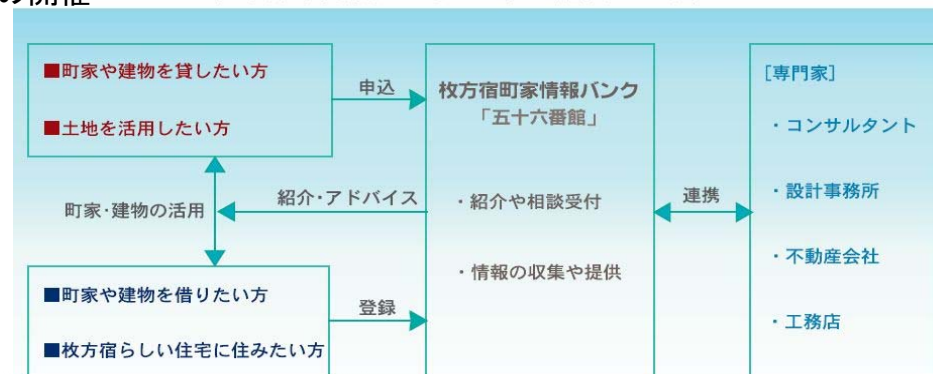
(構成)

8自治会、3商店会、枚方文化観光協会、宿場町枚方を考える会、各種団体など

枚方宿町家情報バンク部会

+

専門アドバイザー



## ③苦労した点や工夫した点

・ 物件所有者や借り手希望者の提示する条件との意見調整。

## ④活動の効果

空き家となった老朽化した町家等を店舗等へ有効的に活用することにより、街の賑わいと歴史的な街なみの形成が図られる。

## ⑤今後の活動

現在、情報バンクに約100名の登録者があります。紹介できる物件が不足している状況ですが、駐車場など空き地からの転用があらたに見込まれます。

また、大阪ミュージアム構想のモデル地区として選定されましたので、今後さらに、行政と連携しながら活動内容を拡充していきます。



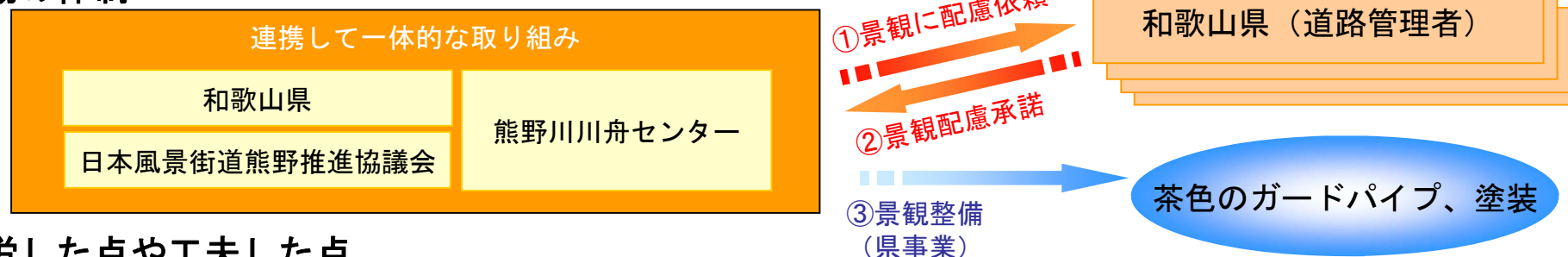
問合せ先 担当: 枚方宿地区まちづくり協議会 事務局 枚方市役所 まちづくり推進課  
電話: 072-841-1221(代)

|        |    |       |                  |
|--------|----|-------|------------------|
| カテゴリー  | 景観 | 活動名称  | 「地域・行政」協働の景観整備事業 |
| 地域ブロック | 近畿 | ルート名称 | 日本風景街道熊野         |

## ①活動概要

国道168号沿いに流れる「熊野川」からの景観のうち、国道に設置されているガードレールによって良好な景観を形成しているとは言えない箇所について、県では平成18年度より更新時期に達した防護柵を、景観に配慮したものへ随時更新しているが、更新時期に達していないものについても更新までの間景観に配慮するために行った。（平成19年度実施）

## ②活動の体制



## ③苦労した点や工夫した点

【苦労した点】 道路管理者が初めての試みであった事からその調整・交渉に苦労があった。

【工夫した点】 景観への配慮の為古いガードレールから順次対応していたが、塗装の場合は、早急に対応でき、経費もガードパイプに付け替えるのに比べて6分の1程度で出来た事

## ④活動の効果

景観に配慮したガードレールの色にする事によって、「川舟下り」をする観光客が、川から眺める景観で、いろいろな伝説物語とともに“癒しの空間・時間”を提供する事ができる。

## ⑤今後の活動

今回の活動は、熊野川の和歌山県側の169号のガードレールの事です。今後、対岸の三重県側でも随時ガードレールを茶色にする活動を実施していく予定。



ペンキ塗りをする関係者  
紀南新聞  
平成20年2月15日  
掲載より

問合せ先 担当：熊野川川舟センター  
電話：0735-44-0987

|        |                         |       |                |
|--------|-------------------------|-------|----------------|
| カテゴリー  | 交流促進、人材育成、<br>情報提供・広報PR | 活動名称  | 子ども語り部         |
| 地域ブロック | 近畿                      | ルート名称 | 日本風景街道若狭熊川・鯖街道 |

## ①活動概要

熊川宿の将来を担う子どもたちが、自分たちのふるさとを調べ、郷土への理解を深め、誇るべきふるさとを自分たちの言葉で伝えられるようになってほしいという住民の願いを込めて、熊川小学校に依頼してこの事業を行った。（平成19年度実施）

## ②活動の体制

熊川小学校児童

パンフレット作成  
子供語り部の実施の呼びかけ

鯖街道熊川宿まちづくり協議会

## ③苦労した点や工夫した点

【苦労した点】 熊川小学校の児童が協力的で、語り部のシナリオを作って何度も繰り返し練習をしてくれた。

【工夫した点】 熊川宿のまちづくりに長く関わっていただいている東京大学の西村幸夫先生と「語る会」を開催し、町並みが整備される前の話をふまえ、熊川宿のみどころを紹介するパンフレットを作成した。



【児童らが作成したパンフレット】



【新聞に掲載された記事】

## ④活動の効果

当初は、若狭町モニターツアーの一行を相手に子ども語り部を実施したが、慣れてくると他のツアーや個人の観光客にも説明をするなど、自信にあふれたいきいきとした表情をみることができた。19年度に語り部を務めた児童が20年度も語り部を実施し、今も小学校の事業として継続している。児童たちは「次はいつ語り部ができるのか」と自信を持ち、確実に熊川宿への誇りが芽生えてきたと思われる。

## ⑤今後の活動

パンフレットは手作りで親しみやすい内容に仕上がっており、熊川宿内の資料館や道の駅などにおいて、観光客に利用していただく。また、来年度以降に子ども語り部を行う際のテキストとして活用していき、子ども語り部を実施していく。

問合せ先 担当: 鯖街道熊川宿まちづくり協議会 事務局  
電話: 0770-62-2711



カテゴリー

交流促進、自然

活動名称

わかめイベント

地域ブロック

近畿

ルート名称

但馬漁火ライン

## ①活動概要

県道香美久美浜線沿線の今子浦地区では、ワカメが特産品であるが、4月から5月に採れるやわらかくおいしい春ワカメはあまり知られていない。地域の特産品を広く知ってもらうとともに、観光客や地域内の交流を図ることを目的に体験型わかめイベントを実施した。  
(平成19年度計画、平成20年度実施)

## ②活動の体制

連携して一体的な取り組み

但馬山陰海岸魅力あふれる道づくり香美町推進協議会今子浦検討部会

香美町

兵庫県

※費用負担：主に観光協会が支出(広報誌は県が作成)

## ③苦労した点や工夫した点

【苦労した点】初めての開催であったため、参加人数を把握できずどの程度の段取りが必要か把握できなかった。

【工夫した点】体験型イベントでは、雨天の場合、中止となってしまうため、わかめ販売や試食等選択肢を増やし、雨天でも決行できるようにした。

## ④活動の効果

イベントは天候不良のため規模を縮小しての開催となったが、町内外から家族連れなど30名余りの参加者があり、わかめ採り・わかめ干しなどを通じて交流が図られた。

今子浦地区の地域資源（海辺景観・特産ワカメ）の発信が行われ、来訪者の評判も良好であった。

## ⑤今後の活動

継続的に輪を広め、収益事業への展開を検討していく。



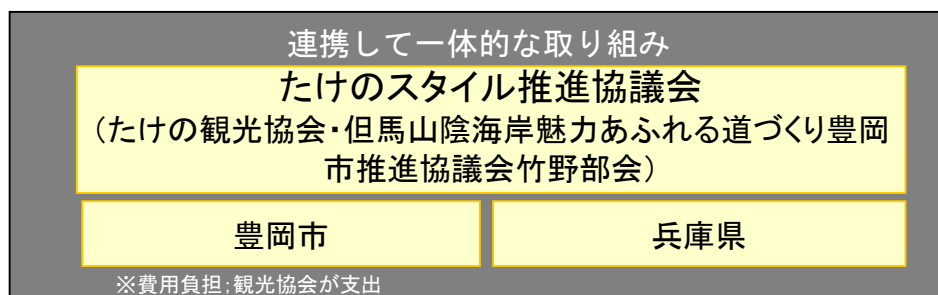
問合せ先 担当:新温泉土木事務所道路保全課  
電話:0796-82-3141

|        |               |       |                    |
|--------|---------------|-------|--------------------|
| カテゴリー  | 交流促進、歴史・文化、自然 | 活動名称  | 「たけのスタイル」誕生の塩工房の取組 |
| 地域ブロック | 近畿            | ルート名称 | 但馬漁火ライン            |

## ①活動概要

竹野では、古くから塩作りが行われており、江戸時代には米の代わりに塩を年貢として出石藩に納めていたといわれている。そこで、自然豊かな竹野町の魅力を生かした体験型旅行を提案する「たけのスタイル」の、体験メニューの1つとして活用するため、海水から塩作りが体験できる「誕生の塩工房」を竹野町竹野の浜辺に設置した。観光客向けには約2時間で体験できる、かまどでの塩作りを提案している。(H19年度より実施)

## ②活動の体制



誕生の塩工房

塩づくりの様子

## ③苦労した点や工夫した点

### 【苦労した点】

- ① 沿岸の海水は濃度や含有物が日毎に相違するため、塩の品質が一定しない。⇒海水を沖合いから採取することにより、安定した品質を確保。
- ② 火の強弱で出来上がった塩が一定しない。⇒沸騰した時点での強火、弱火により普通の塩、荒塩の区分け技術を取得。

### 【工夫した点】

- ① 沿岸に漂着した流木及び日本風景街道業務により実施した枯松の伐採木を薪として、また、旅館・民宿で使用済みのゴミとなった割り箸を焚きつけとして活用し、単なる塩づくりの場ではなく、環境を考える教育の場としている。
- ② 古来から使用している丸底の鉄鍋或いは土鍋を使用し、試行錯誤を繰り返した結果、平底のステンレス製とすることにより、安定した精製が可能となった。

## ④活動の効果

20年3月にオープンし、10ヶ月が経過したが、塩づくりのみの場ではなく、薪づくり、粉殻を燃料としたご飯づくりの体験を提供、また、干物の塩として活用する等、子供から老人まで体験できる場として多くの利用があり、地域の活性化に寄与してきている。更に、体験者から「誕生の塩」は甘くて美味しいと喜ばれている。

## ⑤今後の活動

- ① 体験型旅行「たけのスタイル」の中核的な役割を果たすため、現在20名収容を小・中・高校生1クラスの受入れ可能な40名収容に増設し、安定した施設経営を目指す。
- ② ゆず塩、藻塩等、様々な塩づくり技術の取得及び塩の販売を目指す。

問合せ先 担当:たけのスタイルサービス  
電話:0796-47-1166



カテゴリー

景観、自然

活動名称

ビューポイントマップ作成事業

地域ブロック

中国

ルート名称

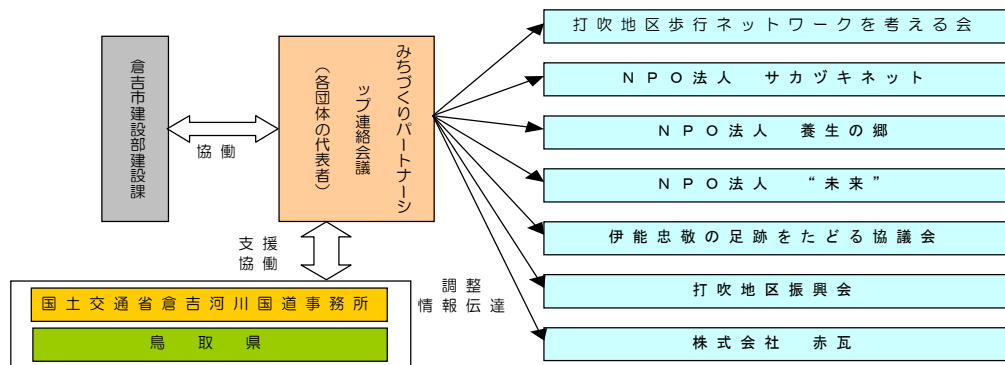
大山遠望歴史の道

## ①活動概要

倉吉地域の国道をはじめとした道路沿線から、名峰大山のすばらしい景色を眺望することができるという地域資源を活かし、地域活性化に繋げる為、東伯耆パートナーシップが一体となり、ビューポイントを紹介するマップ作成を行った。(H19年度作成)

## ②活動の体制

：東伯耆街道パートナーシップ



## ③苦労した点や工夫した点

【苦労した点】 写真200点余りを収集し、その中で意見を出し合いながら掲載写真決定した。

【工夫した点】 マップのエリアは、倉吉市内からも大山が眺望できることを知ってもらう為、市内中心とした。

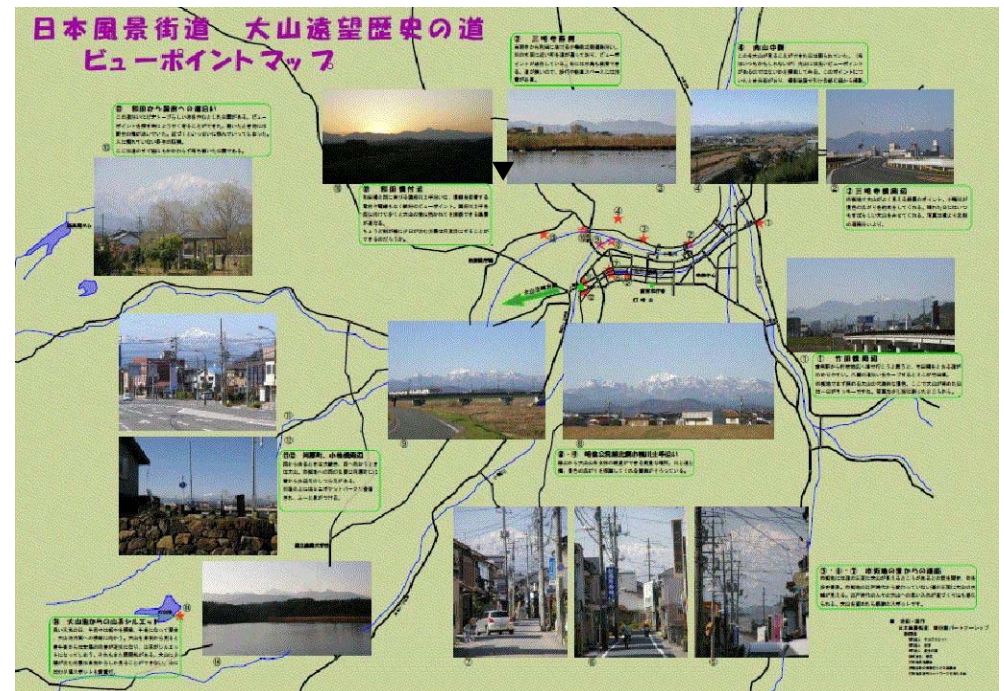
## ④活動の効果

市民及び県外からの来訪者に倉吉市内から美しい大山が眺望できるポイントを紹介することで、地域の良い所を知ってもらうことが出来た。また、風景街道の活動も併せて知ってもらい、認知度の向上に繋がった。

## ⑤今後の活動

ビュースポットに案内標識を設置することや、ビューポイントの整備計画の立案を通して、風景街道の認知度向上や活動の紹介に繋げて行く予定。

道路沿線から大山が眺望できるポイントを紹介



大山遠望歴史の道ビューポイントマップ (H19作成)

問合せ先 NPO法人サカズキネット 担当:里見 泰男  
電話:0858-22-7717



|        |                  |       |                        |
|--------|------------------|-------|------------------------|
| カテゴリー  | 景観、自然、歴史・文化、収益事業 | 活動名称  | レーク街道カフェ               |
| 地域ブロック | 中国               | ルート名称 | 人間文化の原風景～ご縁をつなぐ神仏の通ひ路～ |

## ①活動概要

実施年度：平成19年度、20年度（神在月を含む9月から10月の毎週末に実施）

中海・宍道湖・大山圏域が全国に誇る風景と、その背景にある出雲神話等の歴史をくつろぎながら感じることを目的としたオープンカフェを実施。平成19年度は毎週キャラバンの場所を変えながら景観スポット9箇所計11回、平成20年度は宍道湖の夕日鑑賞スポットである岸公園にて7回実施した。カフェの机にはそこから見える風景を説明したシートを設置し、地域資源の理解促進を図った。

## ②活動の体制

**レーク街道推進会議**  
(風景街道パートナーシップ組織)  
事務局：松江商工会議所

全体調整

**【レーク街道コア会議】**  
島根県ウォーキング協会 島根県技術士会  
NPO大山王国 NPO島根歴史文化ネットワークもくもく

広報物作成、カフェ機材準備、販売員手配等

**【レーク街道カフェ協力団体】**  
(5団体)

各団体活動エリアでのカフェを運営



## ③苦労した点や工夫した点

【苦労した点】活動原資の確保、事業周知

【工夫した点】島根県補助事業の活用、松江商議所支援により原資を確保。事業周知にあたっては、周辺「道の駅」等へのPRちらし配付、松江市による後援協力などにより実施した。



レーク街道カフェの様子

## ④活動の効果

平成19年度：11回の開催により約600名が来訪。 ※有料来訪者数

平成20年度：5回の開催により約250名が来訪。

売上げ（コーヒー200円、クッキー100円）では販売アルバイトや機材運搬などの費用を賄うことができなかった。

## ⑤今後の活動

平成21年度も継続して実施する予定だが、販売単価やメニューの見直しなど経済的に自立できる仕組みを構築する必要がある。



問合せ先 レーク街道推進会議事務局 担当：岩見 真稔  
電話：0852-32-0504

## ①活動概要

隠岐ならではの歴史・文化・自然を活かした地域づくりを推進するために、「地域資源の発掘と活用方法の検討」と「人材育成」を目的とした隠岐学講座『風待ち海道エコツーリズム大学』を開催し、講座で使用したテキストやデータをもとにガイドブック（活用）、ルールブック（保全）、ガイドマニュアルを作成するとともに、携帯電話を活用したナビシステムの構築を行った。（平成18年度より実施）



風待ち海道エコツーリズム大学の様子

## ②活動の体制

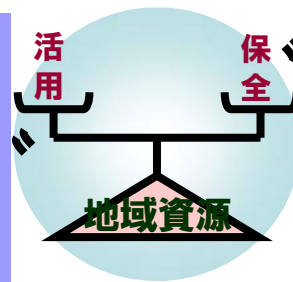
風待ち海道協議会  
(隠岐の島町、観光協会、商工会 等)



連携

風待ち海道倶楽部・隠岐自然倶楽部  
島後とぎの会・歴史民族研究会 等

ガイドブック



ルールブック



地域資源の保全と活用  
エコツーリズムの推進

携帯電話を利用したナビシステムの構築



## ③苦勞した点や工夫した点

【苦勞した点】 地域資源を保全しながら活用を行うエコツーリズムの取り組みを理解してもらうのに苦勞した。

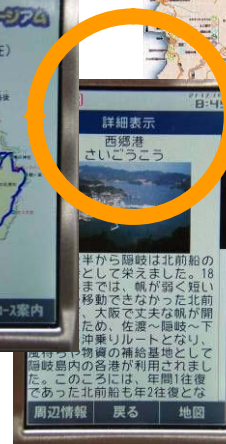
【工夫した点】 隠岐ならではのアカデミックな内容をいかに分かり易く解説し、観光資源として活用するかを工夫した。

## ③活動の効果

- ・エコツーリズムの推進により、新たな観光形態が構築できた。
- ・地域資源のデータベース化により、これまでになかった情報発信が出来るようになった。
- ・有償ガイドの育成につながった。

## ④今後の活動

隠岐の知名度アップと知られざる魅力をより広くPRするために、ユネスコが支援を行う世界ジオパークの登録に向けて活動を推進していく。



問合せ先 隠岐の島町役場 建設課 担当:野辺 一寛  
電話:08512-2-8564



カテゴリー

景観、歴史・文化、交流促進

活動名称

むれ源平石あかりロード

地域ブロック

四国

ルート名称

むれ源平石あかりロード

## ①活動概要

「源平屋島合戦」の史跡文化や地場産業の石材産業文化を活かしたまちづくりのため、点在する源平史跡を繋ぐ約1kmの道を、地元産の庵治石等で作られた“石あかり”で照らす、「むれ源平石あかりロード」を約2ヶ月間、毎日開催した。（2008年8月2日～9月20日）

## ③苦勞した点や工夫した点

- 【苦勞した点】 ●イベント開催資金の確保  
●スタッフ全員が“楽しむ”を目標に活動したので、苦勞と思うことは少ない
- 【工夫した点】 ●地元中学生の参加、住民を中心とした運営  
●石材関係者を中心としたガイド  
●石あかりの電源は各沿道住民の方が負担  
●石あかりの販売による新しい石材販路の開拓

## ②活動の体主体

主 体                      むれ源平まちづくり協議会  
むれ源平石あかりロード実行委員会

+

協 力                      地域住民の方々（中学生 等）

## ④活動の効果

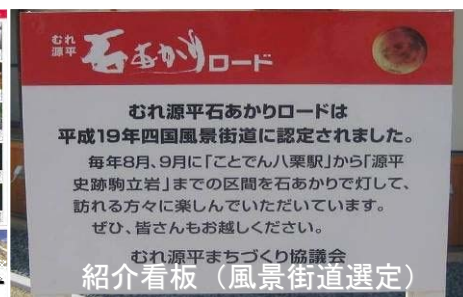
- 規模の拡大：第4回・出展作品：260点（第1回：100点）  
・来場者数：約85,000人（第1回：約30,000人）
- 活動域の拡大：石あかりのデザイン募集やコンテストを全国規模で実施し、また2008年には「全国あかりサミット」を開催する等、牟礼地区を越えて活動。
- 牟礼地区で産出される高級石“庵治石”の普及につながっている。

## ⑤今後の活動 皆が楽しく住みやすいまちをつくる（まちづくり）をテーマに、住むまちにもっと誇りをもつために活動を進めていく。

### ■準備・広報



広告を掲載しているフリーペーパー「石あかりロードマップ」



紹介看板（風景街道選定）

### ■開催状況



地元中学生によるイベント協力



住民協力による石あかりの展示

問合せ先 担当：香川河川国道事務所 道路調査課  
電話：087-841-9125



カテゴリー

景観・自然

活動名称

神山さくら道づくり

地域ブロック

四国

ルート名称

いやし・もてなし神山街道

### ①活動概要（H15～）

町内の数多くある歴史を刻んだ素晴らしい名所旧跡をさくら並木で結び、県内外からの観光客を受け入れて、観光・産業等の振興に努め、活力と夢のある神山町を次世代に引き継ぐことを目的に、神山町全域に「神山枝垂れさくら」を植栽して環境整備を図る。

### ③苦勞した点や工夫した点

【苦勞した点】●植栽予定地が急傾斜地のところでは、雑木の伐採に専門家が必要であった。

- 管理者との協議
- 支柱の手配

【工夫した点】●さくらの種類を「神山枝垂れさくら」を選定したこと  
●自らの手で育てた苗木であること

### ②活動の体制

主 体

NPO法人 神山さくら会

活動に要した費用の調達方法：会費＋寄附金、団体助成

### ④活動の効果

- 参加者数：延べ350人
- 参加者の意見・感想
  - ・すぐに効果はでないが将来が楽しみ。
  - ・数年前に植栽した苗木が花を咲かせ「点から線」になってきた。
  - ・近年、さくらの開花シーズンに観光客が急増してきた。
  - ・すばらしい神山に期待したい。
  - ・大好き神山、住みたい神山。

### ⑤今後の活動

- 国・県道・町道沿いの植栽を早期に完成し、耕作放棄地に「神山さくら」の植栽を進める。
- さくらに関するイベントの展開。

### ■活動状況



植栽予定地の雑木の伐採



苗木の接ぎ木



苗の掘り起こし



苗木の育成



植樹



しだれ桜の街道

問合せ先 担当：徳島県神山町 産業建設課  
電話：088-676-1118

カテゴリー

調査研究・人材育成、歴史・文化

活動名称

風景学習プログラム

地域ブロック

四国

ルート名称

土居廓中

## ①活動概要

地域の小学生を対象に“昔の風景・地図”からその場所を探し、今の様子を写真で撮影するというもので、そのことを通じて、「昔から残っているもの」「変わったもの」を探し、「残していきたいもの」「なぜ変わったのか」などを考え、風景・景観や地域に対する意識を高めてもらう。(H19,20)

## ②活動体制

主 体 歴史と文化にふれる  
歩く道づくり懇話会

+

協 力 土居小学校

活動に要した費用の調達方法

- ・H18～H19年度に調査委託費で作成した資料で対応。
- ・機材等は、懇話会メンバーで調達。

## ③苦労した点や工夫した点

【苦労した点】●限られた時間内でのフィールドワーク設定。

【工夫した点】●小学生が時間内にプログラムを終了できるような時間配分

- 開催状況を市役所HPで報告

## ④活動の効果

- 大人では気づかなかったことを指摘したり、他の班に負けられないようにと積極的に探したりする場面が見られた。
- 大きな変化があった場所に驚く声や、昔の建物がそのまま残っていることに気づいたという声が聞かれるなど、風景への関心が高まったことを感じたフィールドワークとなった。

## ⑤今後の活動

- 今後も、土居廓中をコアエリアとし「歩いて地域の良さを見つけよう」をキーワードとして、ウォーキングイベントや風景学習、道路清掃などを継続的に実施する
- 歩くことを主体とした“みちづくり”、“地域づくり”に関する取り組みを行っていく。

## ■開催状況



問合せ先 担当:土佐国道事務所 調査課  
電話:088-884-0359



カテゴリー

景観・交流促進、情報提供・広報PR

活動名称

地域資源のライトアップ

地域ブロック

四国

ルート名称

南いよ風景かいどう

## ①活動概要

ルート内の地域資源を手作りの灯籠でライトアップを行った。  
各地域の伝え残したい資源を地域内外の人々に気付いてもらう  
ため、ルート内の4地域8箇所では6月～8月にかけて開催され  
た。(H19, 20)

## ③苦勞した点や工夫した点

【苦勞した点】●開催時間が夜間となるため子供の参加が少ない  
●当日の天候によって規模、内容に変更が生じる

【工夫した点】

- 広報・ポスター(全体番・個別版)・チラシは地域でデザイン  
・ブログ、メルマガリストの活用・メディアへの売り込み
- 活動費用・公益事業費、自治体補助・屋台で物産販売  
・学生、住民の手作り灯籠

## ②活動の体制

主 体 南伊予みち風景会議・所属する各地域の団体

+

協 力 地域住民の方々

## ④活動の効果

- 灯籠設置数：約4,000個(延べ)
- 風景街道をきっかけとして、地域資源を灯籠でつなぐことで、  
風景街道認知、他地区への灯籠の貸出し、地元の積極的な参  
加など、地域間の交流が進んでいる。
- 2年目の今年は、リピーターや地区外の人、アマチュアカメ  
ラマンが多く見られた。

## ⑤今後の活動

○引き続き灯籠祭りを開催し、定着化と更なる地域間の交流促進、地域外からの来訪者増加を目指す。

## ■活動状況



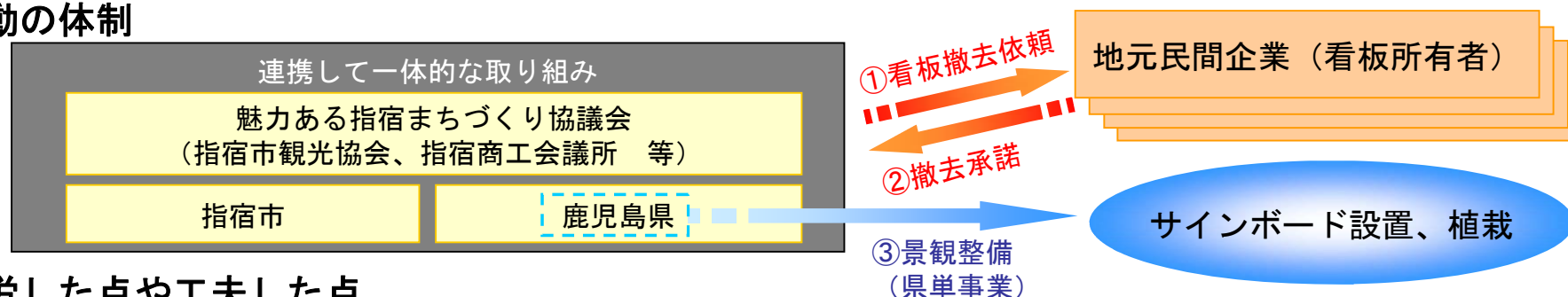
問合せ先 担当: 大洲河川国道事務所 計画課  
電話: 0893-24-5185

|        |    |       |          |
|--------|----|-------|----------|
| カテゴリー  | 景観 | 活動名称  | 看板撤去事業   |
| 地域ブロック | 九州 | ルート名称 | かごしま風景街道 |

## ①活動概要

国道226号にある指宿市街地への入口である大園原交差点に、十数社の看板が無秩序に設置され景観を著しく阻害していたため、「魅力ある指宿まちづくり協議会」を中心に、看板撤去の具体策について県・市と協議し、官民一体となり撤去作業等を進め、指宿市の玄関口にふさわしい景観整備事業を行った。（平成18年度実施）

## ②活動の体制



## ③苦労した点や工夫した点

【苦労した点】 看板所有者が多数にのぼり、それぞれ異なる意見を持っていることから、その調整・交渉に苦労があった。

【工夫した点】 協議会の事務局が中心となり、官民協働で看板設置業者と個別に粘り強く協議を重ねることで解決を図った。

## ④活動の効果

乱立した業者看板がなくなり、地域色を活かしたサインボードと植栽による指宿市の玄関口にふさわしい景観を創出。地元の方々や来訪者の評判も良好である。

## ⑤今後の活動

国道224号、225号、226号等の沿線地域と連携し、今後もより良い景観形成に向けた

活動を実施していく予定。

問合せ先 担当：かごしま風景街道推進協議会 指宿ブロック事務局（指宿商工会議所）  
電話：0993-22-2473





カテゴリー

基盤・施設整備

活動名称

ビューポイント整備

地域ブロック

九州

ルート名称

ながさきサンセット・オーシャンロード

## ①活動概要

長崎県西部の海岸沿いの国道202号からは、海に沈む夕日など、美しい眺望景観を満喫することが可能であるが、道路沿線には、駐車スペースが少なく、また、雑木が生い茂っている箇所があったことから、防草シートの布設及び簡易パーキングの設置を行った。（平成19年度実施）

## ②活動の体制

主体：ながさきサンセット・オーシャンロード推進協議会  
 協力：長崎県道路維持課  
 費用：県単事業

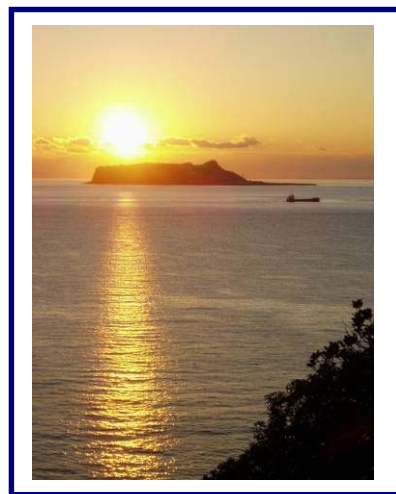
## ③苦労した点や工夫した点

- ・地域住民や風景街道関係者から、「せっかく美しい景色があるのに活用できていない」という意見があり、夕日の絶景スポットを情報提供して頂き、防草シートの布設、簡易パーキングの整備を行った。
- ・簡易パーキングは、既存の道路区域内に設置した。

### 【防草シートの布設】



### 【パーキングからの夕陽】



## ④活動の効果

- ・美しい景観を活かすことができた。

## ⑤今後の活動

- ・風景街道パートナーシップの方々や地域住民と協働で、景観診断を行い、簡易パーキングの整備を今後も引き続き実施していく。

### 【簡易パーキングの設置】



問合せ先 担当：長崎県 道路維持課  
 電話：095-825-0504

|        |                            |       |               |
|--------|----------------------------|-------|---------------|
| カテゴリー  | 基盤・施設整備、交流促進、<br>情報提供・広報PR | 活動名称  | 「通り名」による道案内事業 |
| 地域ブロック | 九州                         | ルート名称 | 日南海岸きらめきライン   |

## ①活動概要

今もなお、港町の風情を色濃く残している日南市油津地区において、通り名を通じた道案内を実施。「まぐろ通り」などの地元の通称で呼ばれている「通り名」などを道に明示し、マップを片手に油津地区を散策する楽しさを来訪者に味わってもらった。また、地域住民による通り名の命名や民・官・学のパートナーシップによる散策マップの作成などのプロセスを通じた地域コミュニティの再生を図った。（平成19年度実施）

## ②活動の体制

| 団体名等              |                           | 役割                       |
|-------------------|---------------------------|--------------------------|
| 油津みなと街づくり委員会 事務局長 |                           | プロジェクトリーダー               |
| 地域住民              |                           | 「通り名」命名、地域資源発掘           |
| きらめきライン           | 日南海岸地域シーニックバイウェイ推進協議会（民間） | 企画立案、ハード・ソフト整備、モニターツアー運営 |
|                   | 日南海岸地域シーニックバイウェイ行政連絡会（行政） | 各種段取り支援、ハード・ソフト整備        |
|                   | 宮崎大学                      | アンケート調査、評価               |

【費用：国土交通省の社会実験として実施】

## ③苦労した点や工夫した点

- ・通り名の命名や散策マップの作成等にあたっては、民・官・学が参加するワークショップを開催し作り上げた。
- ・より多くの地域住民の方に取り組みに参加して頂くため、4地域でワークショップを開催した。
- ・標示板にQRコードや昔の写真を貼付し、付加情報を提供。

## ④活動の効果

- ・地域の埋もれていた資源の発掘。
- ・ワークショップを通じて取り組みに参加することで、地域住民の地元への愛着や誇りが醸成された。
- ・官民協働で取り組むことで、地域と行政との連帯感や信頼関係が築かれた。

## ⑤今後の活動

- ・社会実験では、飢肥杉を案内板の材料として用いたため、劣化等の問題もあり、今後、本格実施に向け、標示板の材質について検討するとともに、標示板の設置箇所や管理手法について検討を行っているところ。



ワークショップの様子



通り名標示板設置の様子



モニターツアーの様子



通り名標示板

問合せ先 担当：国土交通省 宮崎河川国道事務所 調査第二課  
電話：0985-24-8221



|        |                            |       |                    |
|--------|----------------------------|-------|--------------------|
| カテゴリー  | 基盤・施設整備、交流促進、<br>情報提供・広報PR | 活動名称  | 「通り名」による道案内        |
| 地域ブロック | 九州                         | ルート名称 | ながさきサンセット・オーシャンロード |

## ①活動概要

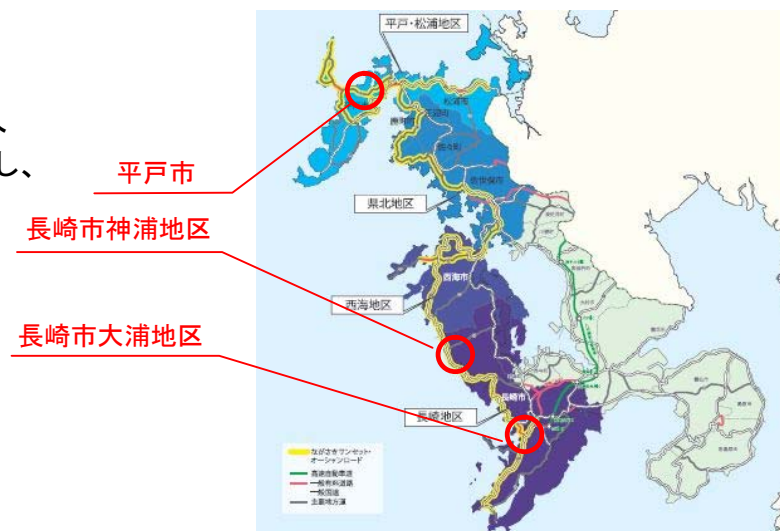
ながさきサンセット・オーシャンロードのエリア内にある長崎市大浦地区、神浦地区、平戸市において、通りの名前と距離を示す番号を記載した案内プレートを設置し、土地に不慣れな人にわかりやすい道案内を実施。また、通りの名前と案内プレートの位置を記したマップも作成し、案内プレートと併せて活用できるようにする。（平成20年度実施）

## ②活動の体制

主体：風景街道ながさきサンセット・オーシャンロード推進協議会  
（道守長崎会議、大浦青年会、外海ツーリズム協議会、NPOひとらど遊学ねっと）

協力：各地区自治会、（社）長崎国際観光コンベンション協会、長崎商工会議所、長崎総合科学大学、平戸観光協会、平戸市文化協会、松浦史料博物館、長崎市、平戸市、長崎県、国土交通省長崎河川国道事務所

費用：国土交通省の社会実験として実施



## ③苦労した点や工夫した点

- ・通りの名前には地域の方の思い入れがあり、地域住民全員の合意形成を図ることは大変であるため、地域住民のだれもが参加できるワークショップを開催することで、地域住民の満足度を向上させた。

## ④活動の効果

- ・地域住民があらためて自分たちの地域を見つめなおす良い機会であったと評価。
- ・「通り名」の実施は観光客などへの道案内などに効果を発揮。

## ⑤今後の活動

- ・風景街道エリア内を中心に、周辺地域にも「通り名」による道案内を拡大して行く予定。



←ワークショップの様子



←まち歩きの様子



案内プレートのイメージ

問合せ先 担当：国土交通省 長崎河川国道事務所 調査第二課  
電話：095-839-9211

|        |    |       |                     |
|--------|----|-------|---------------------|
| カテゴリー  | 景観 | 活動名称  | 景観点検ツアー             |
| 地域ブロック | 沖縄 | ルート名称 | 琉球歴史ロマン街道「宿道」 南部ルート |

## ①活動概要

パートナーシップのメンバーが、問題意識を共有できるよう、国道331号を中心としたメインルートの景観点検を実施した。

(平成19年度)

## ②活動の体制

- ・事務局を南部国道事務所が担当し、パートナーシップの構成員（NPOなどの住民団体、市町村など）で実施



点検ルートの検討状況



点検ルートの実施状況

## ③苦労した点や工夫した点

【苦労した点】・点検する区間が長いため、点検結果を把握する調査シートを、わかりやすく、使いやすいように作成するのに苦労した

【工夫した点】・パートナーシップによるワークショップ形式で、立ち寄りポイントを議論し、埋もれた資源を準備段階で浮き彫りにした

- ・参加者が、その場で議論できるように、乗用車に分乗するのではなく、観光バスを借り上げて実施した

## ④活動の効果

- ・地元では、あたりまえの風景として認識されていた地点が、景観資源であることを認識
- ・植栽やサイン整備での課題を発掘して、今後の取り組みの方向が明確になった

## ⑤今後の活動

- ・本ツアーで確認した資源以外にも、まだまだ資源があるため、これらについても継続して発掘していく必要がある
- ・また、埋もれていた資源を磨くためには、安全で快適に利用できるように、アクセス道路の整備、サインの整備、休憩施設の整備を行い、情報発信をしていく必要があり、行政を交えた計画を立案していく

問合せ先 担当: 沖縄総合事務局 南部国道事務所 渡久山  
電話: 098-862-5325



|        |         |       |                    |
|--------|---------|-------|--------------------|
| カテゴリー  | 景観、交流促進 | 活動名称  | 自転車版快適さマップの作成と交流促進 |
| 地域ブロック | 沖縄      | ルート名称 | 琉球歴史ロマン街道「宿道」      |

## ①活動概要

沖縄北部地域における風景街道パートナーシップの活動の中心は、歴史遺産・風景といった地域資源を自転車の活用により結び付けていくことである。そこで、安全かつ快適な自転車利用を図るべく、「自転車版快適さマップ」を作成した。作成に当たっては、自転車利用者の視点からの評価も反映させた。（平成19・20年度実施）

## ②活動の体制

### 【美ら海とやんばる風景海道PS】

【評価版作成】

【評価】

【完成版作成】

北部国道事務所  
ツールドおきなわ協会

【データ活用】

北部地域ITまちづくり協働機構 → まちなみ散策活動への活用、HPアップロード

今帰仁グスクの会 → 観光ガイドマップ作成、周遊コースの案内、ガイド活用

恩納村文化財案内人道の会 → サイクリングコースの設定、ガイド活用

行政機関(道路・交通管理者、自治体) → 景観阻害物の改修、地元PR

## ③苦勞した点や工夫した点

マップ評価は県道以上を対象としたことから、総延長約530kmに及ぶ道路勾配データの取得が必要となった。本調査では、GPSを用いて対象となる路線のデータ取得を行った。

道路の評価は、自転車利用の視点から「安全性」と「快適性」を評価した。安全性の指標は、道路幅員（自歩道・路肩）、自動車交通量、自動車走行速度などとした。快適性の指標は、道路の段差、縦断勾配、勾配延長などとした。

図面はGISにより『全体版』に加え、名護など主要3エリアの『エリア版』を作成した。

## ④活動の効果

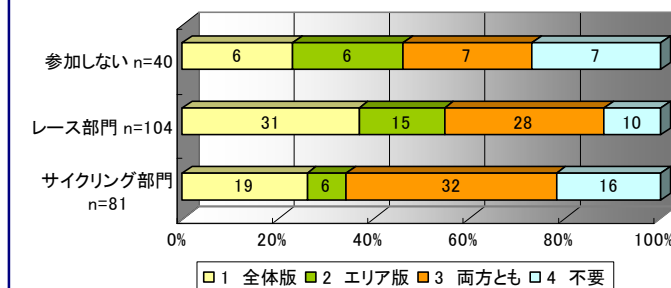
「ツール・ド・おきなわ大会2008」にて参加者へマップの“評価版”を配布すると同時に、アンケート調査を行った。“マップが欲しいか？”という設問に対して、高い支持を受けた（右図）。

## ⑤今後の活動

作成したマップや構築したデータをもとに、風景街道活動団体への支援媒体及びパートナーシップ支援ツールとして活用する予定である。



### マップを欲しいですか？



問合せ先 担当: 沖縄総合事務局 北部国道事務所 川崎  
電話: 0980-54-2744

## ■ 風景街道地方協議会等の連絡先

- シーニックバイウェイ北海道推進協議会（北海道開発局建設部道路計画課内）  
電話 011-709-2311（代表）
- 東北風景街道協議会（東北地方整備局道路部道路計画第二課内）  
電話 022-225-2171（代表）
- 風景街道関東地方協議会（関東地方整備局道路部道路計画第二課内）  
電話 048-601-3151（代表）
- 北陸 風景街道協議会（北陸地方整備局道路部道路計画課内）  
電話 025-280-8880（代表）
- 風景街道中部地方協議会（中部地方整備局道路部計画調整課内）  
電話 052-953-8119（代表）
- 近畿風景街道協議会（近畿地方整備局道路部地域道路課内）  
電話 06-6942-1141（代表）
- 中国地方風景街道協議会（中国地方整備局道路部地域道路課内）  
電話 082-221-9231（代表）
- 四国風景街道協議会（四国地方整備局道路部地域道路課内）  
電話 087-851-8061（代表）
- 九州風景街道推進会議（九州地方整備局道路部道路計画第二課内）  
電話 092-471-6331（代表）
- 沖縄地方風景街道協議会（沖縄総合事務局開発建設部道路建設課内）  
電話 098-866-0031（代表）
- 国土交通省道路局 地方道・環境課 道路環境調査室  
電話 03-5253-8111（代表）